

対イラク共和国 事業展開計画（案）

2024年 4月 現在

基本方針 (大目標)	イラク安定化と持続的発展のための包括的支援										
重点分野 1 (中目標)	持続可能な経済成長のための経済基盤強化										
開発課題 1-1 (小目標) 原油・ガス及び石油製品セクター基盤強化	<p>【現状と課題】</p> <p>●石油：イラクは石油開発の潜在的可能性が高い。その背景として、①豊富な埋蔵量、②未開発の大規模油田の存在、③低コストでの開発が挙げられる。2018年時点で、イラクの石油生産量は日量約441万バレル(2018年OPEC年間報告書)、石油輸出量は日量約386万バレル(2018年OPEC年間報告書)であるが、イラク政府は、「国家開発5カ年計画(2018-2022)」において、これらをそれぞれ日量650万バレル、525万バレルにまで拡大する計画を立てており、それに伴った輸送・輸出関連施設の整備が急務となっている。また、イラクは産油国であるにも拘わらず、もともと国内の石油精製能力が低いためにガソリン等の石油製品を輸入せざるを得ない状況にあったが、「国家開発5カ年計画(2018-2022)」によれば、ISIL掃討作戦等の影響を受け、石油精製能力はそれ以前と比較して51%低下しており、製油所の改良や新設が喫緊の課題となっている。このほか、イラク政府は、炭化水素法の制定、石油投資法の整備、汚職追放、密輸撲滅、治安対策の強化、計画・事業遂行に当たる人材育成、燃料不足の解消といった課題に優先的に取り組んでいる。</p> <p>●天然ガス：イラクの天然ガスの確認埋蔵量は約120兆立方フィートである。このうち70%は石油随伴ガスであるが、これまで殆ど活用されていない。資源の有効活用や環境対策等の観点から、天然ガスの処理・輸送関連施設の整備が急務となっている。また、法的規制枠組の改善、国内企業と外資系企業との協力強化、市場歪曲的な燃料補助金の削減、計画・事業遂行に当たる人材の育成等も課題である。</p>					<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>●既往案件を着実に推進するとともに、本邦企業はエネルギー分野に高い関心を有していることを踏まえ、日本の技術を活かせる分野を念頭に置いた支援を検討する。</p> <p>●可能な限り実施中の円借款案件と関連づけながら、エネルギー関連施設の運営や維持管理等に係る人材育成、組織の強化につながる技術協力を検討する。</p>					
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間					支援額 (億円)	SDGs	備考
原油・ガス及び石油製品産出能力向上プログラム(強化プログラム)	原油輸出施設復旧計画	有償	2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	500.54	7,9	
	バスラ製油所改良計画	有償	2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	424.35	7,9	
	バスラ製油所改良計画(第二期)	有償	2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	1,100.00	7,9	
	バスラ製油所改良計画(第三期)	有償	2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	327.00	7,9	
	バスラ製油所改良計画(第四期)	有償	2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	1,200.00	7,9	
	バスラ製油所改良計画(第五期)	有償	2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2,030.60	7,9	

【現状と課題】

●電力：イラク政府は、「国家開発5か年計画(2018-2022)」において、電力供給システムの強化による電力需要に見合う供給を目標に掲げ、発電所の建設とそれに応じた送変電・配電の各設備の整備を急務としているが、依然として全国的に電力供給は不安定な状態にあり、近年では夏場等のピーク時における不安定な電力供給を糾弾するデモが発生している。電力供給が不十分かつ不安定であることは、医療や上下水等の社会セクターの開発及び産業の発展に対する大きな阻害要因であるだけでなく、社会不安を惹起する一因ともなっている。同問題の解決のためには、インフラ整備（老朽化した発電・送配電施設の更新等）及び人材育成（体系だった計画の立案及び事業の遂行等）が必要である。

●運輸・通信：
 ・イラクの運輸インフラは老朽化等のため、円滑な物流を阻害している。なかでも港湾設備、特に現在の主要港湾であるイラク南部のウンム・カスル港及びコール・アルズペール港の整備が喫緊の課題である。これに加え、その他の港湾を含めた港湾全体の開発計画を策定する必要性が高い。
 ・イラクの通信インフラ（電話、郵便局、及びインターネット）は未発達であり、活発な経済活動や安定的な市民生活に支障をきたしている。そのため、国内及び国外との通信網を強化する必要がある。

【開発課題への対応方針】

●電力：
 ・既往案件を着実に推進しつつ、本邦企業は電力分野に高い関心を有していることを踏まえ、日本の技術が活かせる分野を念頭においた支援を検討する。
 ・行政組織の運営能力向上や人材育成等を中心とする支援を行うほか、エネルギー効率化、再生エネルギー、環境対策などの技術分野における支援（研修等）を引き続き行う。

●運輸・通信：
 ・既往案件を着実に推進しつつ、本邦企業が運輸インフラ分野に高い関心を有していることを踏まえ、日本の技術を活かせる分野を念頭においた支援を検討する。
 ・可能な限り実施中の円借款事業と関連づけた技術協力を引き続き行う。

開発課題 1-2 (小目標)	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
電力・運輸、 港湾等の インフラ整備・ 維持管理強化	電力供給システム 改善プログラム	電力分野の第三国研修（ヨルダン及びエジプト）	第三国研修	■	■						7	
		ハルサ火力発電所改修計画	有償	■						202.24	7	
		電力セクター復興計画（フェーズ2）	有償	■	■	■	■			537.71	7	
		電力セクター復興計画（フェーズ3）	有償	■	■	■	■	■		272.20	7	
		ハルサ火力発電所改修計画（フェーズ2）	有償	■	■					215.56	7	
運輸インフラ改善プ ログラム		持続可能な都市づくりに向けたエルビル都市開発マスタープラン更新プロジェクト	開発計画	■						2.84	11	
		港湾整備計画（第二期）	有償	■	■					391.18	9	
		ウンム・カスル港ターミナル整備事業	有償	■	■						9.17	海外投融資

開発課題 1-3 (小目標) 投資・ ビジネス環境整 備・産業多角化・ 生産性向上・ 零細中小企業振興	【現状と課題】 ●イラクにおいては、民間セクターが依然として育っておらず、外資を呼び込み、産業多角化を目指すにあたっては、イラク現地パートナー企業が乏しい状況。政府は外資・投資家の呼び込みを重要課題と位置づけており、とりわけ金融セクターを含む、民間セクター育成は喫緊の課題。 ●ユネスコの第43回世界遺産委員会で、古代遺跡バビロンが世界遺産に登録される等、有数の観光資源を有するものの、長年の戦争の影響もあり、遺産保護や観光インフラ開発が遅れている。産業多角化の推進を掲げるイラクにおいて、重要な産業となりうる観光資源の開発は依然として課題となっている。 ●イラク政府は、「国家開発5か年計画(2018-2022)」において、産業の多角化の観点から農業部門を重点分野として掲げており、農業部門の開発を重要視している。しかし、イラクでは食料の輸入依存度が高く、灌漑施設の老朽化及び塩害等により、穀物生産量、食料自給率、農業部門の競争力は低い水準のままである。そのため、関連インフラの建設・リハビリ(灌漑施設、肥料工場等)、技術協力(灌漑、農業技術の向上等)、農産物の生産性向上(農業開発の潜在的可能性が高い小麦、野菜、果樹等の生産)が必要である。		【開発課題への対応方針】 ●遺産保護や観光インフラ開発に資する機材整備や研修等を通じた支援を行う。 ●既往の円借款案件を着実に推進するとともに、イラク経済のエネルギー分野への過度な依存を避けるため、産業多角化に向け、日本企業の技術を活かせる分野を念頭においた支援を検討する。 ●可能な限り実施中の円借款案件と関連づけながら技術協力(技術協力プロジェクト、本邦研修、第三国研修他)を実施・検討する。また、農業開発の潜在的可能性が高く、治安情勢が安定しているイラク北部のクルディスタン地域を中心に技術協力プロジェクトや専門家派遣等を引き続き実施する。										
	協プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度				
	農業生産性向上プログラム	水利組合による持続的な灌漑用水管理プロジェクト(ステージ2)	個別専門家	■								2,8	
		クルディスタン農業試験センター運営強化プロジェクト	技プロ	■	■	■	■				5.76	2	
農業分野の課題別研修及び第三国研修		課題別研修等	■	■	■						2,8		
灌漑セクターローン(フェーズ2)		有償	■	■	■	■	■	■		154.65	2,8		

<p>開発課題 1-4 (小目標)</p> <p>上下水道・環境の 質向上・再エネ・ エネルギー効率化</p>	<p>【現状と課題】</p> <p>●上水道：湾岸戦争前まで安全な水供給が広く行なわれていたが、その後関連施設の適切な維持管理や新規設備投資がなされていなかった。加えて、上流国との流量をめぐる問題も生じている。例えばイラク第2の都市である南部バスラにおいては、飲料水の安定供給が困難であるほか、塩水化も進んでいる。</p> <p>●下水道：バグダッド市では既存の下水施設の老朽化が顕著であり、エルビル市を含むその他の地方においては下水道システム（下水処理場と下水管）が未整備のため、コレラの発生等衛生面に深刻な問題が発生している。また、埋め立て施設等の適切な廃棄物処理施設がないため、未処理の浸出水が地下へ浸透する等の環境汚染が懸念されている。</p> <p>●自然環境：イラクは、砂漠気候に位置し降雨量減少等による気候変動の影響を受けやすい。イラクは、気候変動枠組み条約を批准済であるが、温室効果ガス削減のための政策立案や事業を実施していないため、対策を講じることが必要である。</p>		<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>●既往案件を着実に推進しつつ、本邦企業は上水道分野に高い関心を有していることを踏まえ、日本の技術が活かせる分野を念頭においた支援を検討する。</p> <p>●可能な限り実施中の円借款事業と関連づけた技術協力を引き続き行う。</p>										
	協カプログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度				
	上下水・都市衛生 プログラム	環境（廃棄物管理）分野の国別研修	国別研修	■	■							13	
		水分野の国別研修	国別研修	■	■							6	
		バスラ上水道整備計画	有償	■	■	■	■	■			429.69	6	
		中西部上水道セクターローン	有償	■	■	■	■	■			412.74	6	
		クルド地域下水処理施設建設計画（第一期）	有償	■	■	■	■	■	■		344.17	6	
		バスラ上水道整備計画（第二期）	有償	■	■						194.15	6	
クルド地域上水道整備計画（第二期）		有償	■	■						24.63	6		
サマワ上水道整備計画	有償	■	■	■	■	■	■		452.98	6			

重点分野2 (中目標)	安定した生活環境の整備・強化／人づくり／ガバナンス																																																																						
開発課題2-1 (小目標) 保健・医療サービス・就業機会提供	<p>【現状と課題】</p> <p>●イラクの保健セクターは、1980年代以降の紛争、経済制裁、ガバナンスの低下等のために、医療施設・機材が老朽化して更新が十分に行われておらず、医薬品や資材も不足しており、さらに医療従事者の流出も起きている。その結果、医療サービスが著しく低下しており、世銀の統計によると、2017年時点の5歳未満児死亡率は30%（中東・北アフリカ地域平均は23%）にのぼる等、保健指標が際立って低い水準が続いている。このような状況を踏まえ、イラク政府は「国家開発5か年計画(2018-2022)」において、保健制度及び保健サービス提供手段の改善、戦闘による被害を受けた保健機関の復旧等を挙げ、課題の克服に取り組んでいる。</p>					<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>●「平和と健康のための基本方針」を踏まえた支援を行う。</p> <p>●既往の円借款案件を着実に推進するとともに、日本企業の技術を活かせる分野を念頭においた支援や、我が国NGOや大学病院等との連携の可能性を検討する。</p> <p>●可能な限り実施中の円借款案件と関連づけながら技術協力を実施・検討する。また、これまでに我が国が支援した資機材が病院側の自助努力で適切に維持・管理されるよう、医療関係者に対する人材育成を引き続き行う。</p>																																																																	
	協力プログラム名	案件名				スキーム	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">実施期間</th> <th rowspan="2">支援額 (億円)</th> <th rowspan="2">SDGs</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>2023 年度 以前</th> <th>2024 年度</th> <th>2025 年度</th> <th>2026 年度</th> <th>2027 年度</th> <th>2028 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td rowspan="3">102.45</td> <td rowspan="3">3</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>					実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度							102.45	3																																					
	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考																																																														
	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度																																																																	
						102.45	3																																																																
病院整備プログラム	保健セクター復興計画				有償																																																																		
	保健セクターに係る情報収集・確認調査				情報収集・確認調査																																																																		
医療関係者の能力向上プログラム	保健分野の国別研修				国別研修																																																																		
開発課題2-2 (小目標) 教育・職業訓練・女性の権利保護	<p>【現状と課題】</p> <p>●イラクの教育レベルは、1980年代まで中東で最高水準にあると広く認められていたものの、教育制度の非効率化、長年の紛争による人材流出及び教育施設・設備の荒廃等により低下している。そのため、教育分野のインフラ整備、教育制度の改善、高等教育機関の強化、教師の能力強化等が求められている。</p>					<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>●「平和と成長のための学びの戦略」を踏まえた支援を行う。</p> <p>●教育施設のインフラ整備のほか、教育計画・管理等の支援を行う。</p>																																																																	
	協力プログラム名	案件名				スキーム	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">実施期間</th> <th rowspan="2">支援額 (億円)</th> <th rowspan="2">SDGs</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>2023 年度 以前</th> <th>2024 年度</th> <th>2025 年度</th> <th>2026 年度</th> <th>2027 年度</th> <th>2028 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>					実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度							4																																						
	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考																																																														
2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度																																																																		
						4																																																																	
教育システム改善プログラム	教育分野の課題別研修				課題別研修他																																																																		
開発課題2-3 (小目標) 行政能力向上・制度整備及び改革	<p>【現状と課題】</p> <p>●行政機関の能力向上：地方選挙、国会選挙の円滑な実施等により、民主化には一定の進展が見られる。一方で、戦後の混乱の中で相当規模の人材流出・喪失が見られ、中央政府と県との権限関係も整備途中であるところ、行政の機能強化は社会サービス・選挙を含めて公正な公共サービスを提供する上で極めて重要。また、開発事業の進捗や民間部門の投資促進にとっても、公共財政管理、公共事業のマネジメント能力強化や各種法制度整備が重要となっている。</p> <p>●警察・治安関係機関の能力向上：民兵組織及びISIL残党による治安部隊や政府・外国部隊・外交団関連施設に対する攻撃、組織犯罪（誘拐、薬物の密輸等）等により首都バグダッドを含むイラクの治安情勢は依然として流動的であり、警察・治安関係機関の治安維持能力向上は引き続き大きな課題となっている。</p>					<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>●既往案件を着実に推進しつつ、イラクの財政危機を踏まえ、行財政改革努力を後押しする支援を引き続き実施する。</p> <p>●既往案件を着実に推進しつつ、可能な限りイラク安定化及びテロ対策と関連づけた技術協力を引き続き行う。</p>																																																																	
	協力プログラム名	案件名				スキーム	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">実施期間</th> <th rowspan="2">支援額 (億円)</th> <th rowspan="2">SDGs</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>2023 年度 以前</th> <th>2024 年度</th> <th>2025 年度</th> <th>2026 年度</th> <th>2027 年度</th> <th>2028 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td rowspan="2">8</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td rowspan="2">8</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td rowspan="2">16</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>					実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度							8															8															16								
	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考																																																														
	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度																																																																	
						8																																																																	
						8																																																																	
						16																																																																	
民主化支援プログラム	労働安全衛生分野に係る第三国研修(ヨルダン)				第三国研修																																																																		
	財政・金融等ガバナンス分野における課題別研修他				課題別研修他																																																																		
警察・治安能力向上プログラム	警察分野人材能力向上フェーズ3 (ヨルダン)				第三国研修																																																																		

重点分野3 (中目標)	「平和・安全・安定した社会」実現のための人道支援										
開発課題3-1 (小目標) WASHサービス・ 住宅整備・ 女子子供の保護や 自立支援	<p>【現状と課題】</p> <p>●現在、イラク政府が国内避難民（IDP）キャンプ閉鎖を急速に進める動きがある中、IDPの帰還先の環境整備が追いついていない。具体的には、治安や安全（地雷除去を含む）が確保されず、基礎インフラや社会サービスが崩壊したまま、雇用機会も欠如した環境への帰還を余儀なくされるIDPが増加している。また、既に帰還失敗例も確認されている。</p> <p>●安全性、持続可能性が担保されない帰還や、望まない帰還が今後更に増加することが予想されており、このような帰還の急増によって、更なる人道状況の悪化、ひいては社会の不安定化が助長されることが危惧されている。</p> <p>●ゆえに、安全な住居の確保や基礎インフラの再建、食料・医療等の基礎的な社会サービスの確保といった、IDPの帰還環境の整備の加速化が急務。</p> <p>●政府によるIDP・帰還民支援政策は打ち出されているものの本格始動しておらず、また、IDPの心理社会的支援や生計支援といった、成功裏な帰還プロセスに欠かすことのできない支援であるものの、複雑な対応や特殊なノウハウが必要となるものは、国際機関による対応に頼らざるを得ないのが実情。</p>				<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>●国際機関等への補正予算提出を通じた支援を引き続き行う。</p> <p>●人道支援から開発への移行期にあるところ、当国で最も脆弱なグループの人々である国内避難民・難民支援は、生活再建のための住居や基礎インフラ整備から、コミュニティ融和のためのソフト面の支援まで多岐にわたり、知見とノウハウが重要であるところ、国際機関等と連携し、差し迫ったニーズに対応するプロジェクトを形成し、対応する。</p>						
協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間				支援額 (億円)	SDGs	備考		
補正予算による国内避難民・難民支援	イラクに対する国際機関等経由の人道支援	マルチ	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	8.30	3,4,5,6,13	

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「基礎情報調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修、長期研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型、SATREPS））「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「SDGs調査」（＝途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」）、「ニーズ確認調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」）、「ビジネス化実証事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」）、「実線「――」（＝実施期間）、「破線「- - -」（＝実施予定期間） ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf